

目 次

第1章 序論：最初に考えるべきこと	1
制約の明確化	2
[対象とする読者(3), フォーマット(5), メカニックス(6), ポリテックス(7)]	
スタイルの選択	8
[構成(8), 言葉(9), イラストレーション(11)]	
第2章 構成：内容の整理	14
冒 頭 部	14
[表題のつけ方(12), 要約の書き方(15), 序論の書き方(23)]	
中 心 部	25
[組み立て方の選択(25), 節, 小節の作り方(29)]	
終 結 部	31
[結論部の書き方(35), あとづけの書き方(39)]	
第3章 構成：つなぎ, 詳述, 強調	45
つ な ぎ	45
詳 述 の 程 度	50
強 調	54
[繰り返しによる強調(54), 言葉による強調(55), イラストレーションによる強調(56), 配置による強調(57)]	

第4章 言葉：正確さ	63
適性語句の選択	63
適性詳述レベルの選択	67
第5章 言葉：明瞭さ	72
不要な複雑さを避ける	72
[不要に複雑な単語(72), 不要に複雑な句(74), 不要に複雑な文(75)]	
あいまいさを避ける	79
[語句に起因するあいまいさ(80), 構文に起因するあいまいさ(81), 代名詞 に起因するあいまいさ(81), 句読法に起因するあいまいさ(83)]	
第6章 率直さ	86
調子のコントロール	86
[仰々しい語句を避ける(86), 傲慢な語句を避ける(88), 陳腐な表現を避ける(89)]	
適確な名詞と動詞の選択	90
[適確な名詞を使う(91), 適確な動詞を使う(92)]	
第7章 言葉：親しみやすさ	98
親しみのない語を避ける	98
親しみのない語は定義する	100
例と類比を組み入れる	102
第8章 言葉：簡潔さ	106
冗漫をなくす	106
無意味な言葉をなくす	107
単語の数を減らす	109
官僚的な無駄を省く	112

第9章 言葉：滑らかさ	115
文章のリズムに変化をつける	116
[書き出しを変える(116), 文章の長さを変える(120), 文型を変える(121), パラグラフの長さを変える(122)]	
断続をなくす	123
[独立する説明間のつながりを保つ(123), 不必要に複雑な体裁を避ける(124), 数式の導入に気をつける(127)]	
第10章 イラストレーション：正しい選択	131
表	131
図	133
[グラフ(133), 写真(135), 描画(136), 略図(138)]	
第11章 イラストレーション：最良のデザイン	141
正確なこと	141
明瞭なこと	142
滑らかなこと	146
身近なこと	149
第12章 通 信 文	151
通信文の制約	152
通信文のスタイル	153
第13章 提 案 書	158
提案書の制約	159
[提案書のフォーマット(159), 提案書のポリティックス(160), 提案書の読者(161)]	
提案書のスタイル	163
[問題の説明(163), 解決法の提案(166)]	

第 14 章 取扱い説明書・使用書	171
取扱い説明書・使用書の制約	171
取扱い説明書・使用書のスタイル	173
第 15 章 口 頭 発 表	181
口頭発表の制約	183
口頭発表のスタイル	183
[口頭発表の構成(184), 視覚資料の作成(185), 口頭発表の仕方(189)]	
第 16 章 フォーマット：文書の体裁	192
印 字	192
レイアウト	196
第 17 章 執 筆 の 開 始	199
雰 囲 気 作 り	200
最 初 の 草 稿	202
修 正 , 修 正 , ま た 修 正	210
仕 上 げ	216
補遺 A 文法と句読法の落とし穴	219
よくある文法の落とし穴	220
句読法の落とし穴	223
[ピリオド(.) (223), コンマ(,) (224), コロン(:) (226), セミコロン(;) (226), ダッシュ(-) (227), 引用符(“ ”) (227), ハイフン(-) (227)]	
補遺 B 科学者・技術者のための語法	229
編訳者付記 各章冒頭の言葉の訳例と人物紹介	235

